

(2)西宮市の魅力について

西宮市は今年で市制90周年を迎えました。

これからも市民のみなさまが愛し、誇りとするまちをともに目指すため、西宮市に対する愛着やどのような点に魅力を感じているかなどをお聞きし、今後の取り組みに役立てていきたいと考えています。

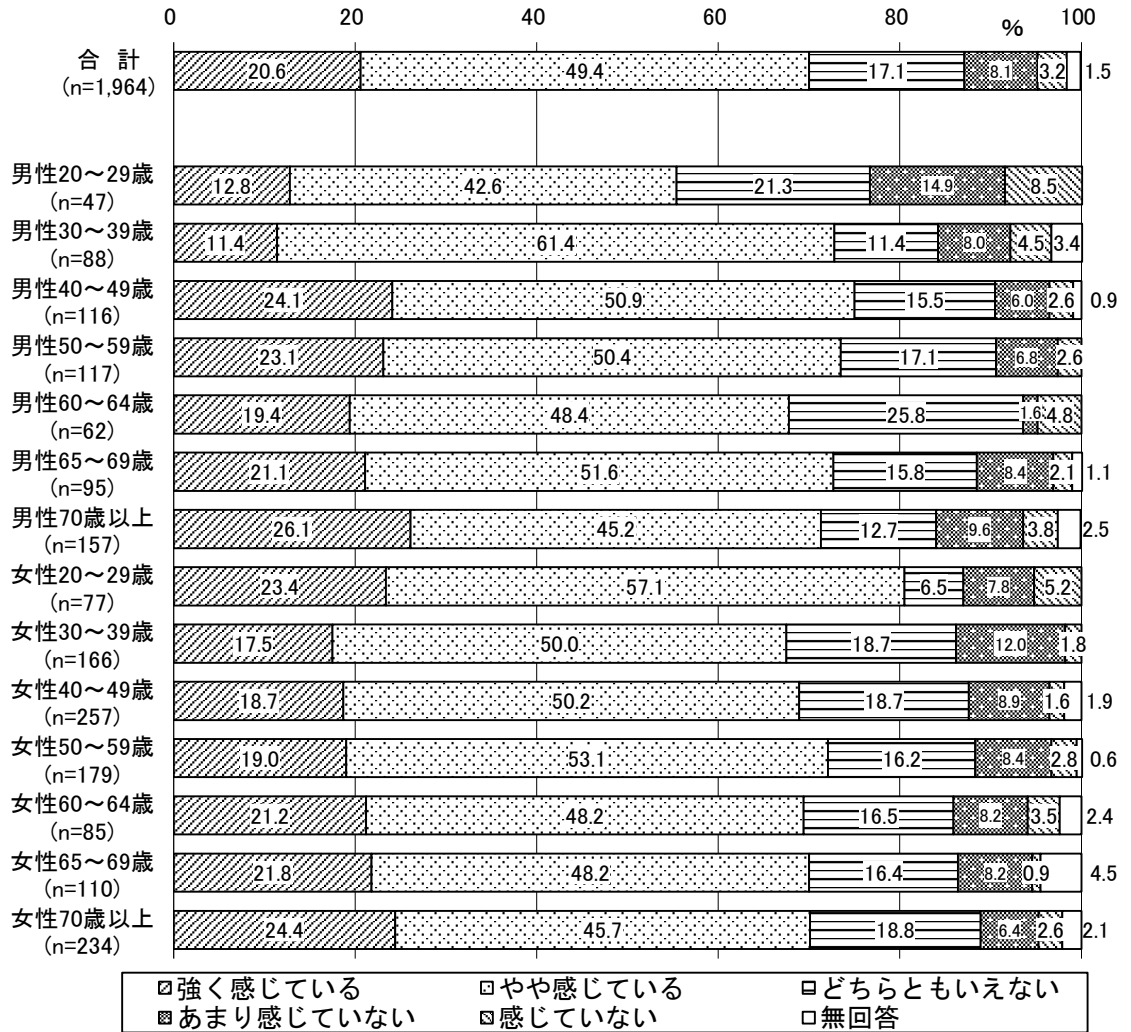
■住んでいる地域に愛着や誇りを感じているか

問 14 あなたの住んでいる地域に愛着や誇りを感じていますか。(1つ選んで○)

住んでいる地域に愛着や誇りを感じている人が約7割。

- ・住んでいる地域に愛着や誇りを「強く感じている」とする回答者は20.6%、「やや感じている」とする回答者は49.4%で、7割は愛着や誇りを感じている。
- ・性・年齢別にみると「強く感じている」は男性70歳以上が最も多く、これに女性70歳以上が次いでおり、高齢層で高い。この割合が低いのは、男性30～39歳、次いで男性20～29歳と男性の若年層で低い。

住んでいる地域に愛着や誇りを感じているか

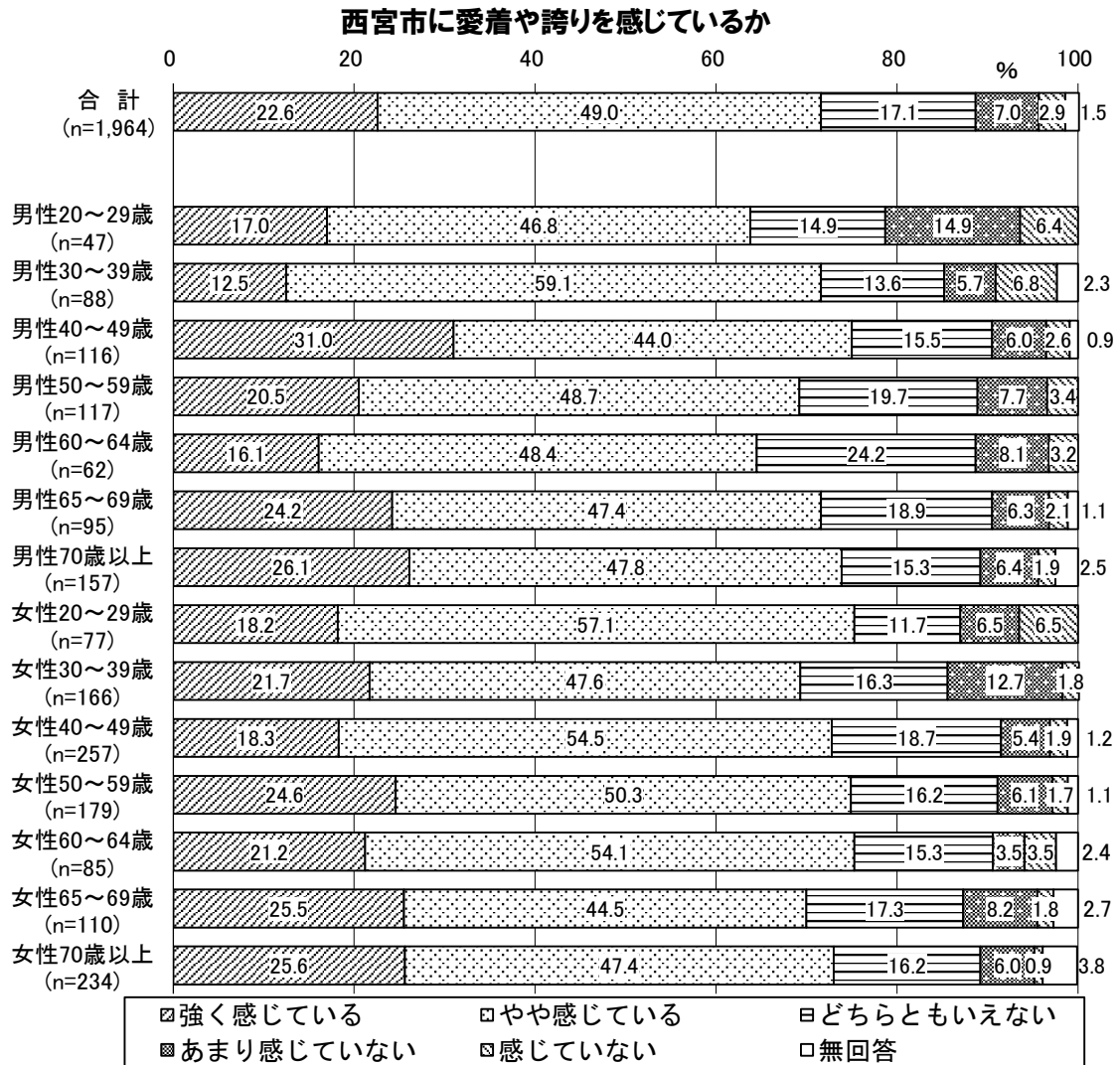


■西宮市に愛着や誇りを感じているか

問 15 西宮市に愛着や誇りを感じていますか。(1つ選んで○)

西宮市に愛着や誇りを感じている人が約7割。

- 西宮市に愛着や誇りを「強く感じている」とする回答者は22.6%、「やや感じている」とする回答者は49.0%で、住んでいる地域への愛着や誇りの場合と同様の水準である。
- 性・年齢別には、男女ともに65歳以上で高いが、「強く感じている」の割合が最も高いのは男性40～49歳である。



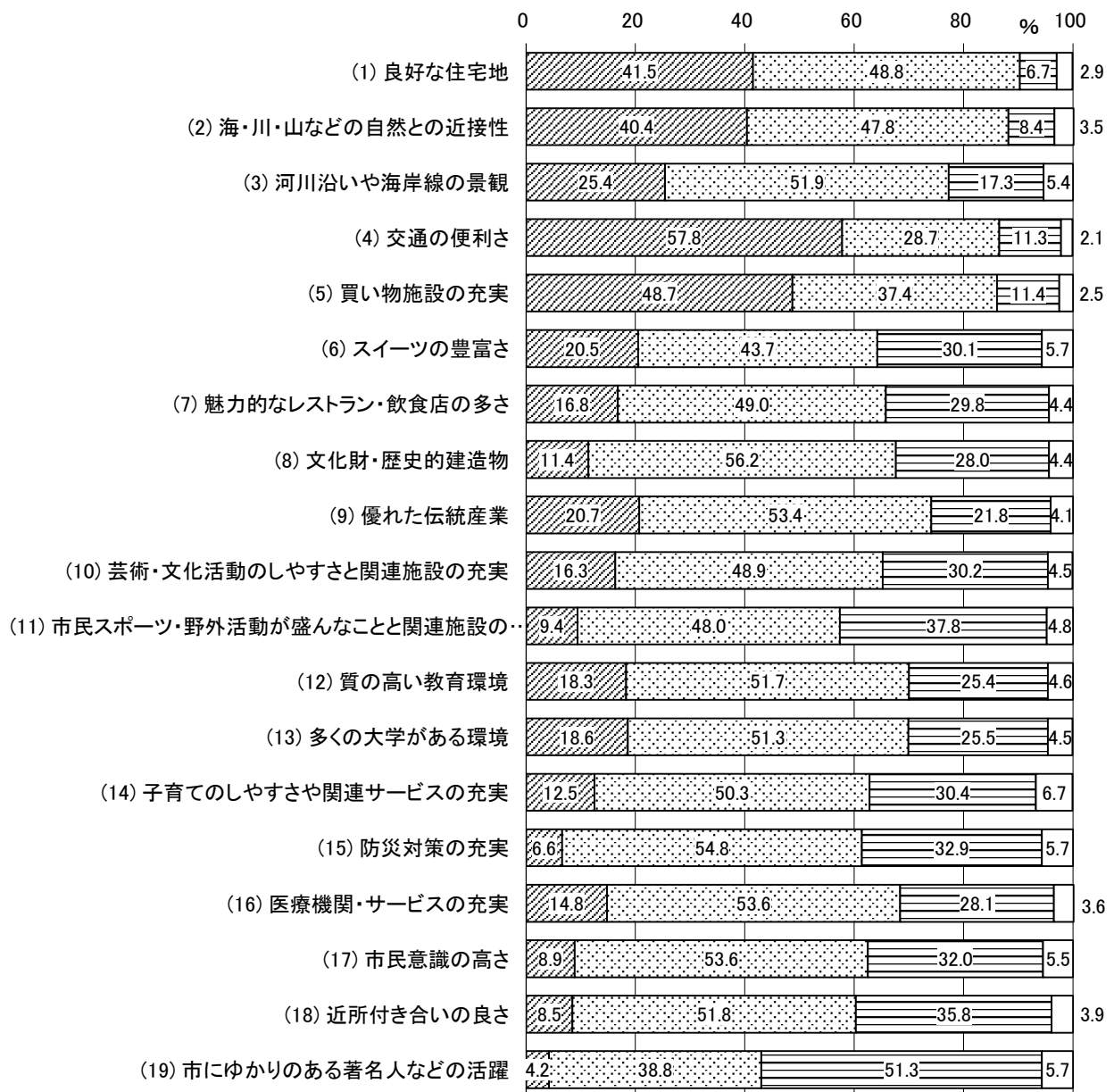
■どのくらい魅力を感じているか

問 16 西宮市の特徴と言われている以下の各項目について、あなたはどのくらい魅力を感じていますか。以下のそれぞれについて、1から3のあてはまるものに○をつけてください。

交通の便や買い物など、日常生活利便性が魅力。

どのくらい魅力を感じているか

(n=1,964)



□かなり魅力を感じる □やや魅力を感じる □魅力を感じない □無回答

- ・「かなり魅力を感じる」の高い項目は、〈(4)交通の便利さ〉(57.8%)が過半数で、これに〈(5)買い物施設の充実〉(48.7%)、〈(1)良好な住宅地〉(41.5%)、〈(2)海・川・山などの自然との近接性〉(40.4%)が続く。生活の利便性と自然を含む住環境が重視されている。

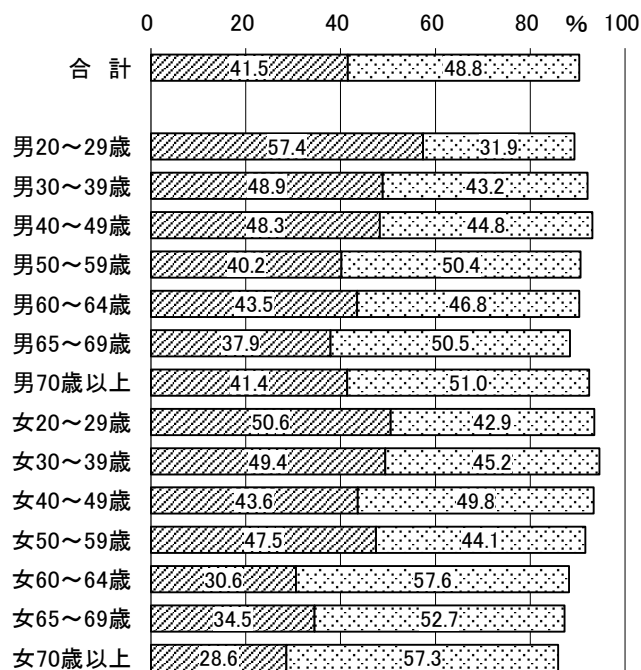
- ・各項目の「かなり魅力を感じる」「やや魅力を感じる」の1%につき、それぞれ2点、1点を与え、加重点として集計すると、第5位〈(3)河川沿いや海岸線の景観〉、第6位〈(9)優れた伝統産業〉などとなっている。

魅力を感じるか(加重点による)		加重点
(4) 交通の便利さ		2,836
(5) 買い物施設の充実		2,649
(1) 良好な住宅地		2,591
(2) 海・川・山などの自然との近接性		2,524
(3) 河川沿いや海岸線の景観		2,015
(9) 優れた伝統産業		1,862
(13) 多くの大学がある環境		1,740
(12) 質の高い教育環境		1,736
(6) スイーツの豊富さ		1,663
(16) 医療機関・サービスの充実		1,632
(7) 魅力的なレストラン・飲食店の多さ		1,620
(10) 芸術・文化活動のしやすさと関連施設の充実		1,602
(8) 文化財・歴史的建造物		1,550
(14) 子育てのしやすさや関連サービスの充実		1,480
(17) 市民意識の高さ		1,403
(18) 近所付き合いの良さ		1,352
(15) 防災対策の充実		1,337
(11) 市民スポーツ・野外活動が盛んなことと関連施設の充実		1,312
(19) 市にゆかりのある著名人などの活躍		928

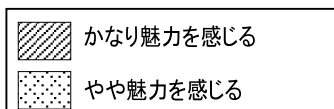
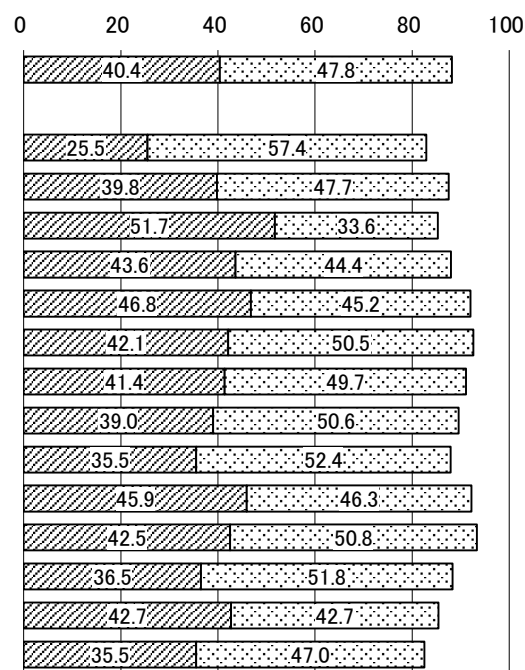
各項目の「かなり魅力を感じる」「やや魅力を感じる」の1%につき、それぞれ2点、1点を与え、集計した。

- ・性・年齢別にみると、〈(4)交通の便利さ〉や〈(5)買い物施設の充実〉では若い層ほど評価が高い傾向である。〈(2)海・川・山などの自然との近接性〉は男女ともに40～49歳で最も高くなっている。
- ・そのほか〈(6)スイーツの豊富さ〉〈(7)魅力的なレストラン・飲食店の多さ〉では女性20～29歳で高く、〈(16)医療機関・サービスの充実〉では若年層と高年層の両端で高いなど、性・年齢別にも特徴がみられる。

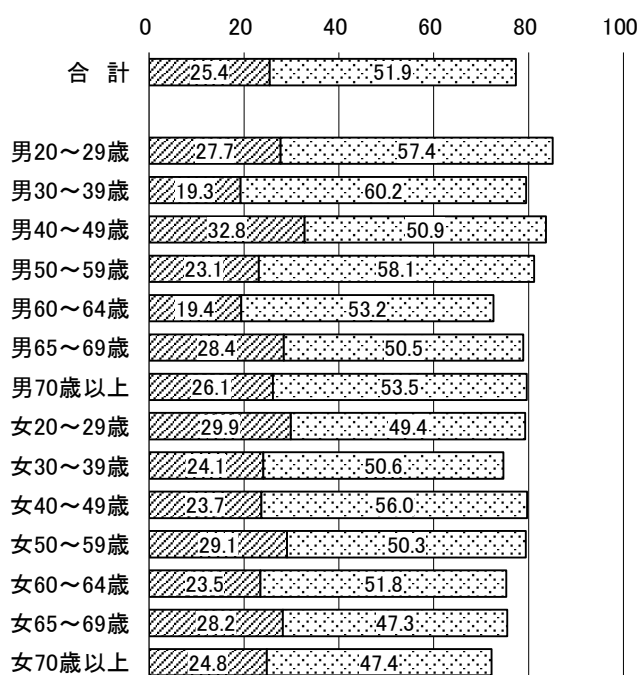
(1) 良好な住宅地



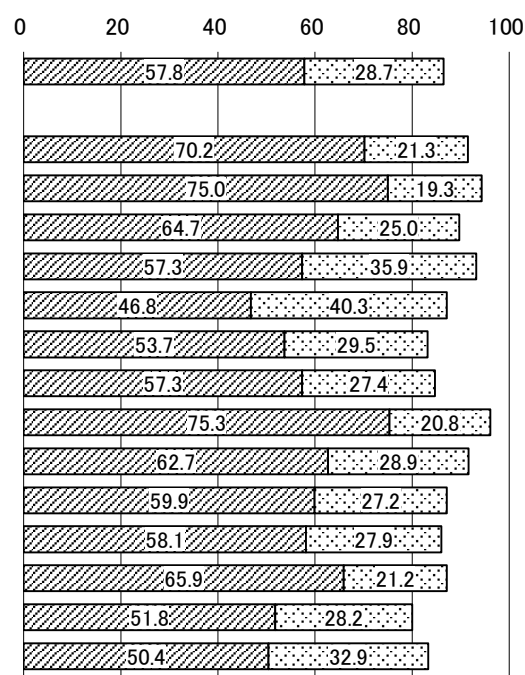
(2) 海・川・山などの自然との近接性



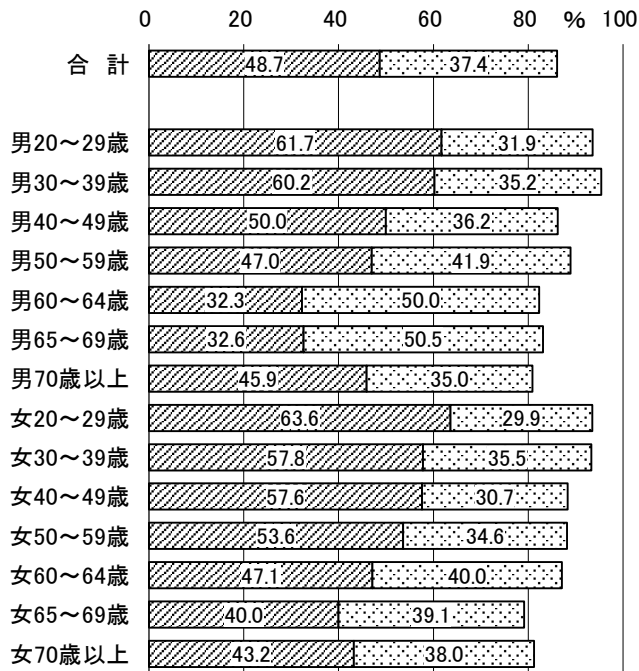
(3) 河川沿いや海岸線の景観



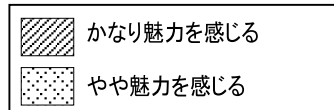
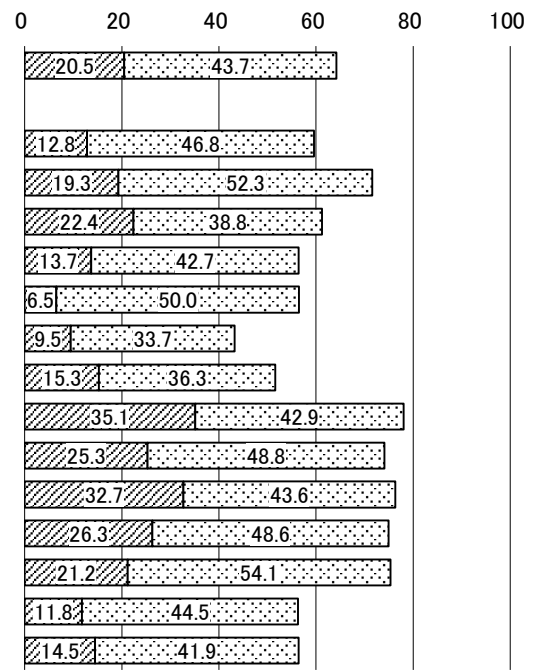
(4) 交通の便利さ



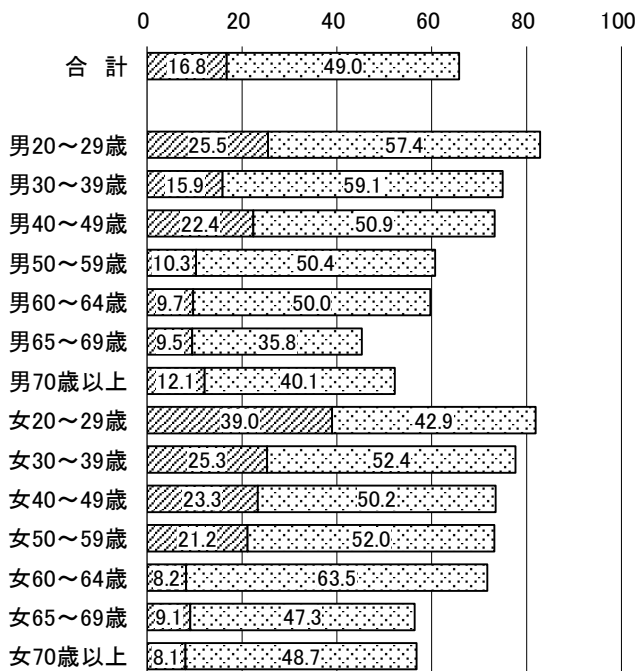
(5) 買い物施設の充実



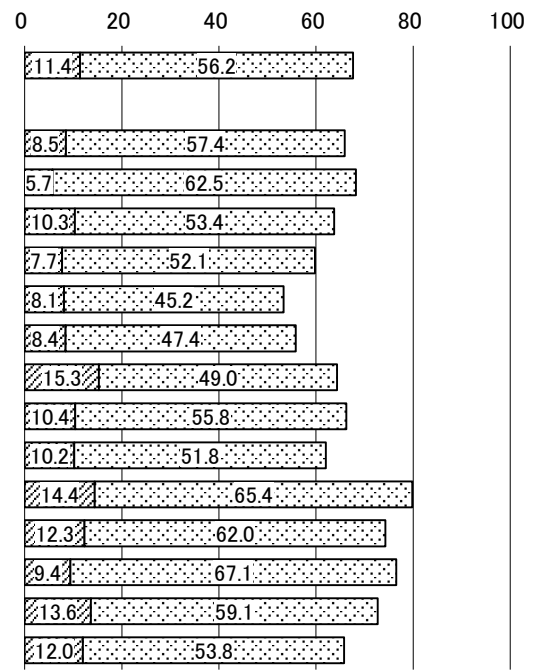
(6) スイーツの豊富さ



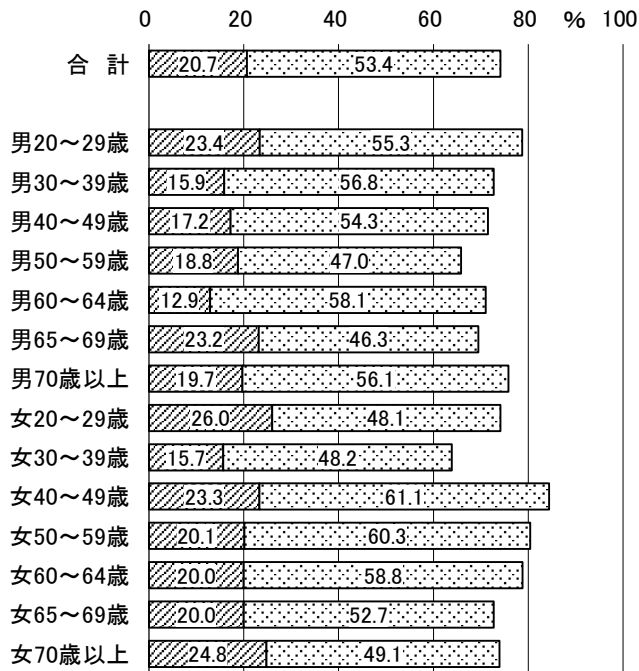
(7) 魅力的なレストラン・飲食店の多さ



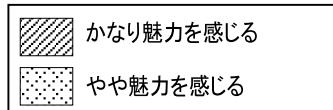
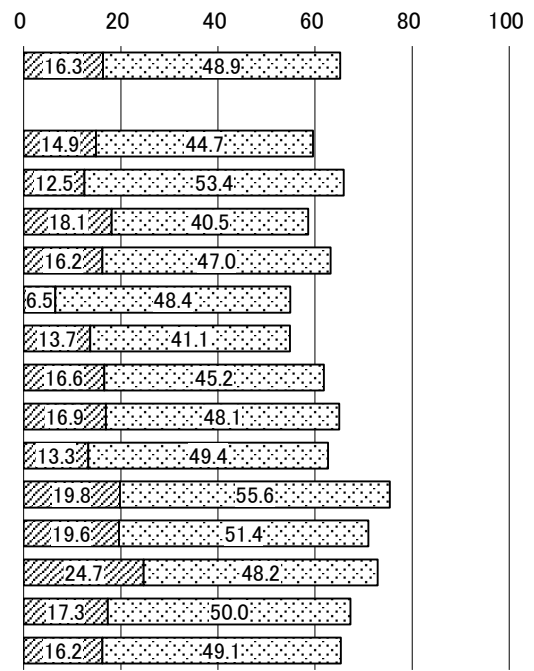
(8) 文化財・歴史的建造物



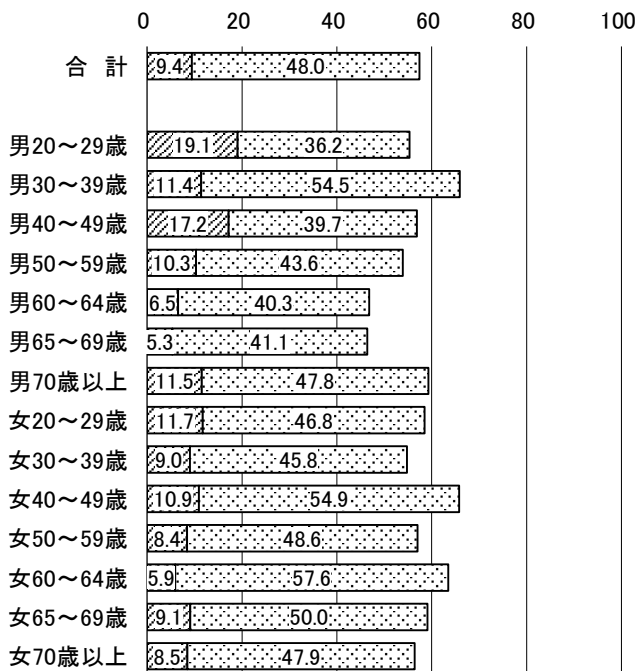
(9) 優れた伝統産業



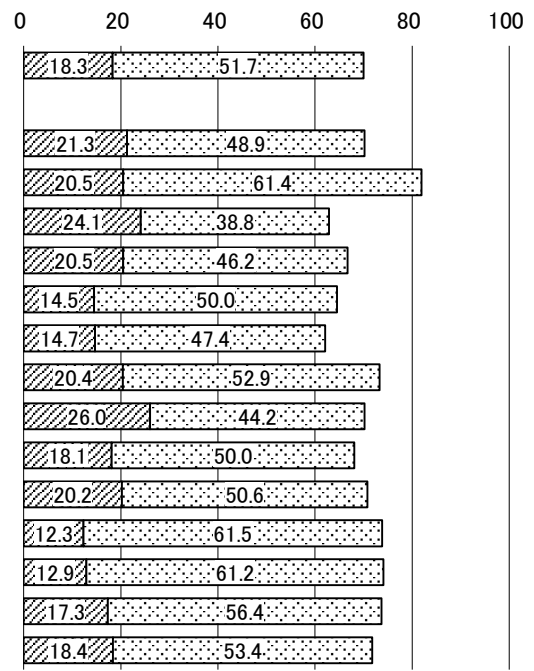
(10) 芸術・文化活動のしやすさと関連施設の充実



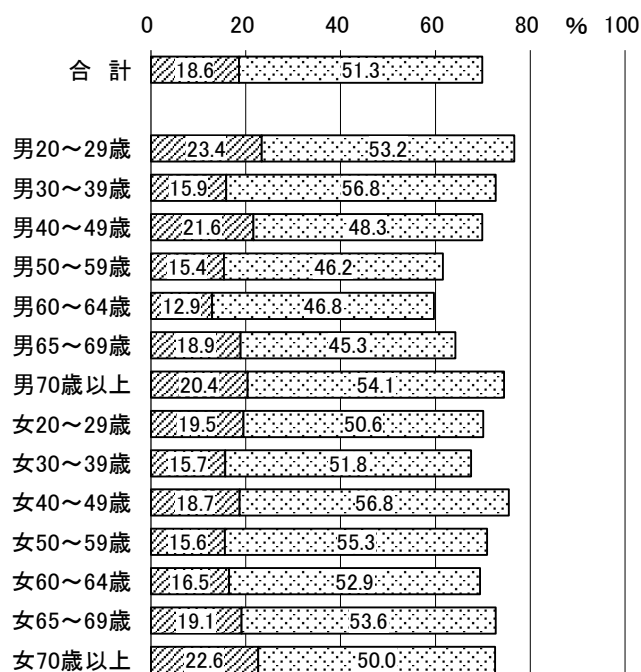
(11) 市民スポーツ・野外活動が盛なことと関連施設の充実



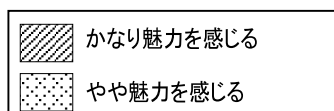
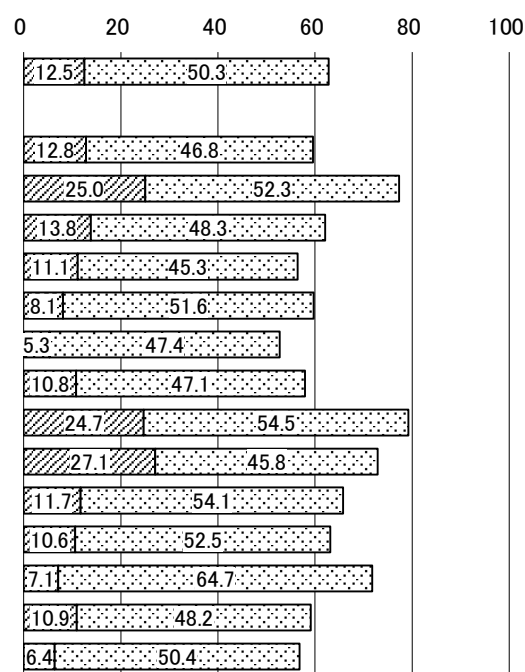
(12) 質の高い教育環境



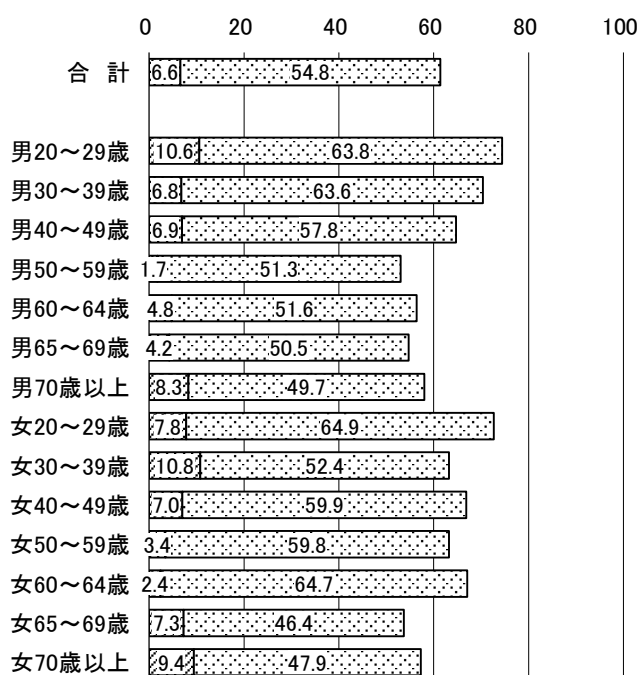
(13) 多くの大学がある環境



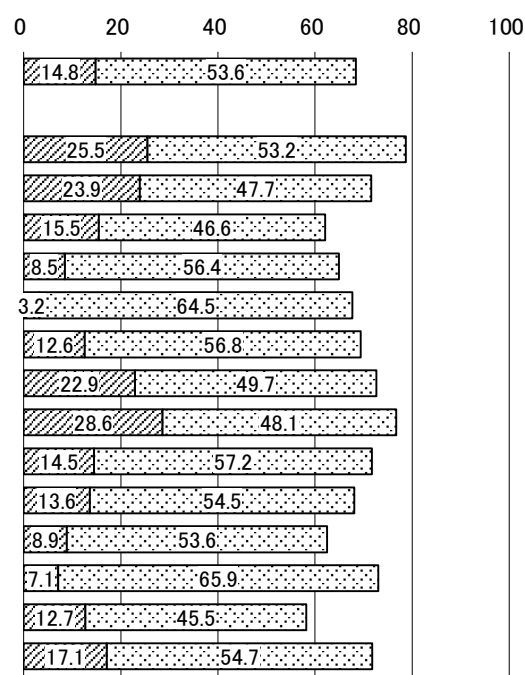
(14) 子育てのしやすさや関連サービスの充実



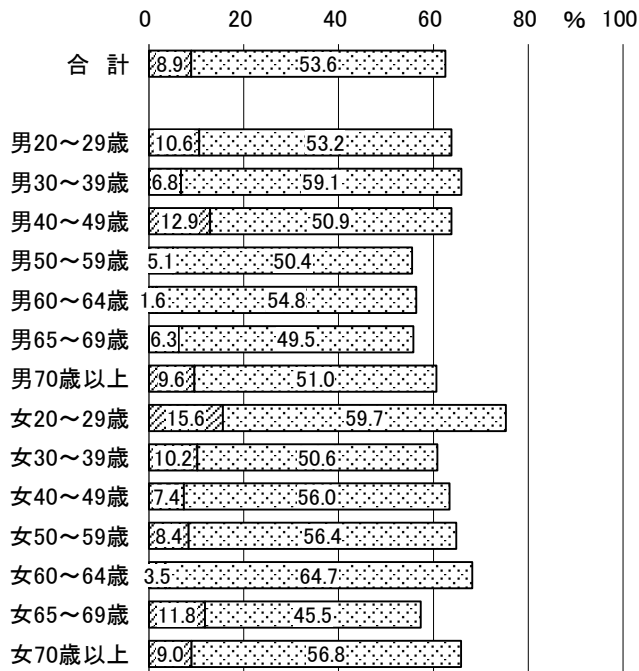
(15) 防災対策の充実



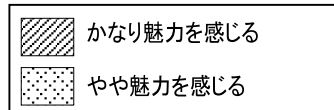
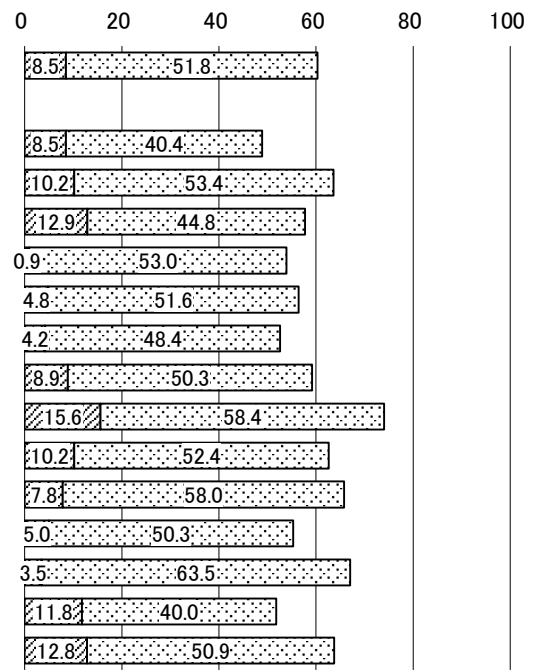
(16) 医療機関・サービスの充実



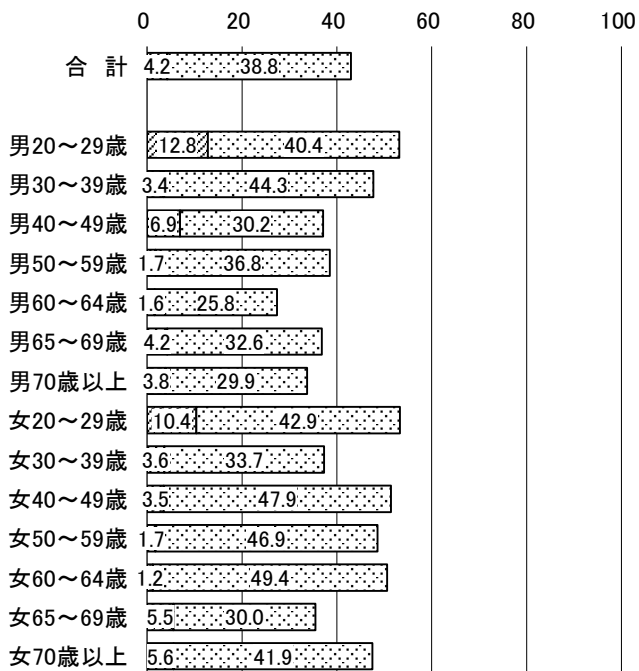
(17) 市民意識の高さ



(18) 近所付き合いの良さ



(19) 市にゆかりのある著名人などの活躍

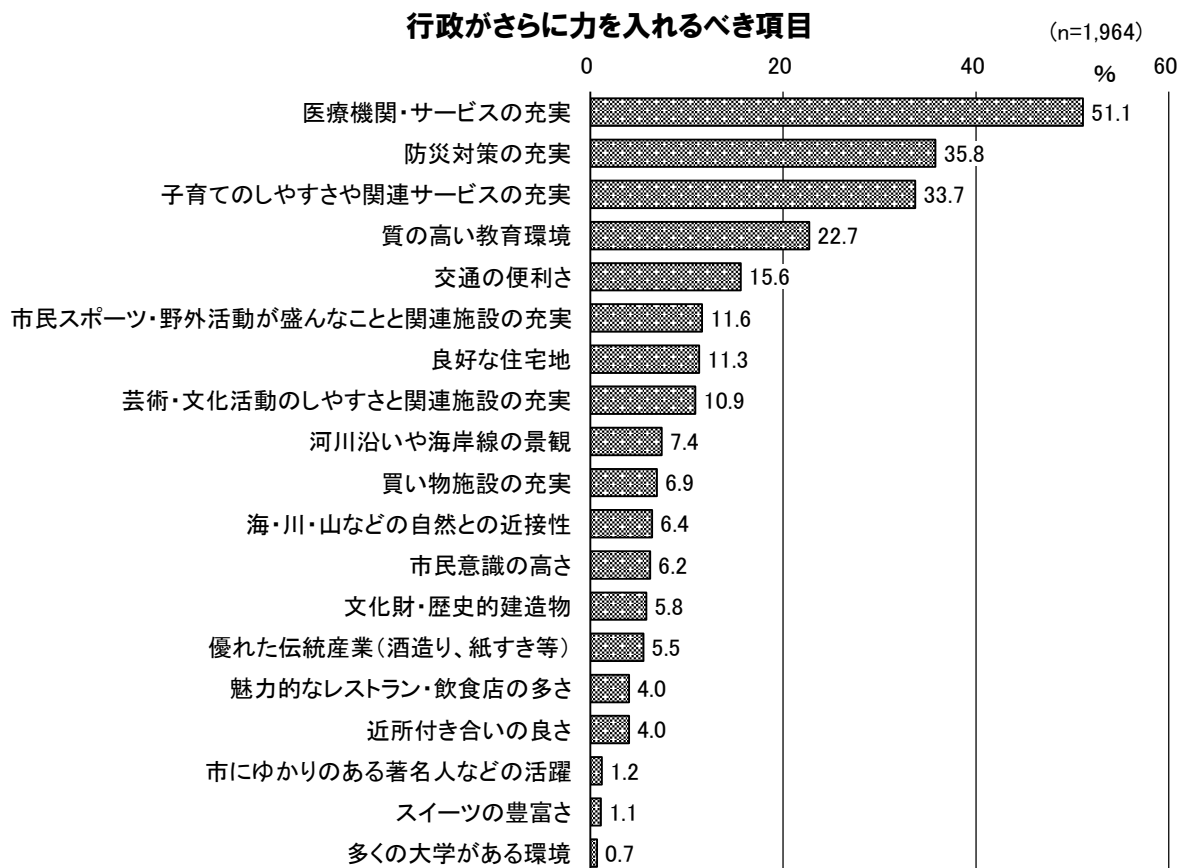


■行政がさらに力を入れるべき項目

問 17 問 16 の1～19 の項目のうち、どれに行政はさらに力を入れるべきだと思いますか。3つまで選んでご記入ください。

医療や防災、子育て支援など、公的な項目を重視。

- 行政としてさらに力を入れるべき項目としては、加重点では第10位であった「医療機関・サービスの充実」が51.1%で過半数を占めている。これに「防災対策の充実」(35.8%)、「子育てのしやすさや関連サービスの充実」(33.7%)が続き、行政には安全や子育てなど、生活に密着した項目が期待されている。



- ・性・年齢別にみると、「医療機関・サービスの充実」については、女性の50～64歳の層で支持が高い。また、「子育てのしやすさや関連サービスの充実」に対しては20歳代から40歳代にかけての層で高い。全体で第4位であった「質の高い教育環境」においても若い層が強く支持している。

	良好な住宅地	海・川・山などの自然との近接性	河川沿いや海岸線の景観	交通の便利さ	買い物施設の充実	スイーツの豊富さ	魅力的なレストラン・飲食店の多さ	文化財・歴史的建造物	優れた伝統産業（酒造り、紙すき等）	芸術・文化活動の充実
全 体(n=1,964)	11.3	6.4	7.4	15.6	6.9	1.1	4.0	5.8	5.5	10.9
男性 20～29 歳(n=47)	17.0	10.6	12.8	23.4	10.6	6.4	8.5	6.4	8.5	10.6
男性 30～39 歳(n=88)	10.2	5.7	5.7	11.4	10.2	1.1	3.4	5.7	3.4	6.8
男性 40～49 歳(n=116)	13.8	12.1	9.5	16.4	5.2	2.6	6.9	8.6	6.9	10.3
男性 50～59 歳(n=117)	23.1	9.4	9.4	17.1	5.1	2.6	5.1	10.3	4.3	13.7
男性 60～64 歳(n=62)	12.9	11.3	6.5	12.9	6.5	0.0	0.0	4.8	4.8	17.7
男性 65～69 歳(n=95)	9.5	4.2	9.5	13.7	4.2	0.0	6.3	8.4	7.4	12.6
男性 70 歳以上(n=157)	12.1	5.1	9.6	15.9	5.1	0.0	1.9	7.6	8.3	10.2
女性 20～29 歳(n=77)	16.9	7.8	3.9	15.6	13.0	1.3	2.6	2.6	5.2	13.0
女性 30～39 歳(n=166)	10.8	4.8	3.0	12.7	4.8	1.8	4.8	2.4	4.2	9.0
女性 40～49 歳(n=257)	7.4	3.9	6.2	16.0	7.0	0.8	2.7	2.7	3.1	8.6
女性 50～59 歳(n=179)	9.5	5.6	8.9	17.9	5.6	0.0	3.4	6.7	7.3	14.0
女性 60～64 歳(n=85)	10.6	5.9	9.4	12.9	8.2	1.2	3.5	2.4	3.5	5.9
女性 65～69 歳(n=110)	10.9	4.5	9.1	13.6	8.2	0.0	4.5	3.6	4.5	12.7
女性 70 歳以上(n=234)	8.1	5.6	7.3	17.1	9.0	0.4	3.8	7.7	7.7	11.5

※数値の太字斜体は、全体を10ポイント以上上回るもの。

	市民活動施設が盛んなことと野 外	質の高い教育環境	多くの大学がある環 境	子育てのしやすさや 関連サービスの充実	防災対策の充実	医療機関・サービスの 充実	市民意識の高さ	近所付き合いの良さ	市にゆかりのある著 名人などの活躍
全 体(n=1,964)	11.6	22.7	0.7	33.7	35.8	51.1	6.2	4.0	1.2
男性 20～29 歳(n=47)	19.1	34.0	0.0	19.1	34.0	29.8	8.5	0.0	6.4
男性 30～39 歳(n=88)	10.2	33.0	0.0	55.7	22.7	55.7	8.0	4.5	0.0
男性 40～49 歳(n=116)	15.5	29.3	0.9	34.5	31.0	56.0	6.0	6.9	1.7
男性 50～59 歳(n=117)	12.8	20.5	0.9	27.4	43.6	51.3	4.3	1.7	0.0
男性 60～64 歳(n=62)	11.3	17.7	0.0	37.1	30.6	48.4	6.5	6.5	1.6
男性 65～69 歳(n=95)	10.5	17.9	0.0	25.3	38.9	51.6	9.5	7.4	2.1
男性 70 歳以上(n=157)	12.7	17.8	0.6	17.8	35.7	41.4	5.1	3.8	0.6
女性 20～29 歳(n=77)	11.7	32.5	0.0	53.2	32.5	37.7	7.8	7.8	2.6
女性 30～39 歳(n=166)	10.2	35.5	0.6	63.3	37.3	56.0	4.2	3.0	1.2
女性 40～49 歳(n=257)	10.9	30.0	0.4	44.4	39.3	60.7	5.8	1.9	0.0
女性 50～59 歳(n=179)	15.1	18.4	1.1	29.6	45.3	62.0	5.0	2.2	1.1
女性 60～64 歳(n=85)	7.1	18.8	0.0	37.6	38.8	65.9	7.1	1.2	0.0
女性 65～69 歳(n=110)	11.8	12.7	0.0	19.1	41.8	53.6	9.1	8.2	1.8
女性 70 歳以上(n=234)	6.8	11.5	1.7	20.1	29.9	41.9	6.4	5.1	2.1

※数値の太字斜体は、全体を10ポイント以上上回るもの。

■西宮を代表するイメージ

問 18 問 16 の1～19 の項目以外で、あなたが西宮を代表するイメージと考えているものがあれば、ご記入下さい。

甲子園やタイガースのイメージが強い。

- 448人の記述があった。具体的なイメージを記述したなかで主なものを整理すると下表の通りである。

分類	件数	主な記述
阪神甲子園球場・野球、スポーツなど	197	• 阪神甲子園球場 • 高校野球 • 阪神タイガース
自然、海・山・川、緑など	51	• 甲山 • 夙川 • 武庫川 • 桜 • ヨットハーバー
文化、歴史	42	• 西宮神社 • 酒造り、酒蔵
住宅地、住環境	41	• 閑静な住宅街 • 住宅地の景観
大学、教育、文教都市	24	• 美しいキャンパス • 教育熱心 • 文教都市、文教地区

施策に向けての一言 <西宮市の魅力について>

西宮市は「住みたい街ランキング」などで常に上位にあるが、実際の住民は西宮市にどのような点に魅力を感じているのであろうか。問14は回答者自身が「住んでいる地域」に愛着や誇りを感じているかを尋ねている。全体としては約7割が感じていると答えている。性別・年代別にみると20代の女性において愛着や誇りを感じている人の割合が約80%と最も高い。逆に20代の男性では約55%と最も低い値を示しており、若い男女の間で評価が異なっていることがうかがえる。問15は西宮市そのものに愛着や誇りを感じているかを尋ねている。全体の回答結果は「住んでいる地域」について尋ねた問14とさほどかわらない分布を示している。

魅力を感じる項目を尋ねた問16において「かなり魅力を感じる」ものとして多くの回答者に選ばれたのは「交通の便利さ(57.8%)」「買い物施設の充実(48.7%)」「良好な住宅地(41.5%)」「海・川・山などの自然との近接性(40.4%)」となっている。これら4項目は「やや魅力を感じる」という回答まで含めるとそれぞれ80%以上となる。それ以外の項目で「かなり魅力を感じる」と「やや魅力を感じる」という回答の総計が7割に及ぶものとしては、「河川沿いや海岸線の景観」「優れた伝統産業」「質の高い教育環境」などがある。

問17では行政がさらに力を入れるべきものを尋ねている。最も多くの回答者が選んだのは「医療機関・サービスの充実」で、約半数にあたる51.1%という値を示している。それに続くのは「防災対策の充実(35.8%)」「子育てのしやすさや関連サービスの充実(33.7%)」である。性別・世代別で見ると、「医療機関・サービスの充実」においては50-60代の女性が、「子育てのしやすさや関連サービスの充実」については30代男性と20-40代の女性が、それぞれ相対的に高い選択率を示している。また「質の高い教育環境」については20-30代男性および20-40代女性がそれぞれ30%以上を選択している。これらの世代は育児期間に入っている人が多いからであろうと推測される。高齢化社会において「医療機関・サービスの充実」が求められるのは自然なことである。また育児中の家庭にとってもこの部分は重要である。

西宮を代表するイメージについて自由回答で尋ねた問18では野球関連のものが多く選択されている。それ以外の要素としては自然、文化、住環境、教育などがあげられている。西宮市全体としては野球以外の魅力も大いに育成しアピールしていく必要があるのではないか。

市民は「交通の便利さ」を西宮市の大きな魅力として捉えている。このことは西宮市にとって大きなアドバンテージであり、他の魅力的な部分と連動することで、さらに西宮市の魅力が大きくなることを示唆しているように思われる。たとえば魅力的な文化コンテンツも交通の利便性の悪いところにあるとなかなか享受されにくい。交通の利便性については短期的に変わることはないインフラであるから、これを利用して別の魅力を高めるための方策が今後求められるところであろう。

(関西学院大学 山田真裕)